

製品名: HCN2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11931**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 100kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | HCN2 |
| 別名 | HCN2; BCNG2; Potassium/sodium hyperpolarization-activated cyclic nucleotide-gated channel 2; Brain cyclic nucleotide-gated channel 2; BCNG-2 |
| 遺伝子 ID | 610.0 |
| SwissProt ID | Q9UL51 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト HCN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540 |

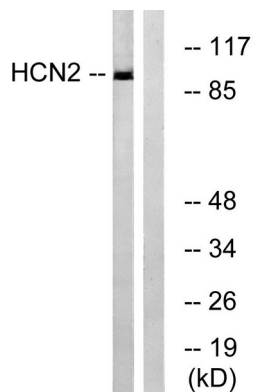
背景

HCN2 などの HCN 遺伝子ファミリーの過分極活性化陽イオンチャネルは、心臓と脳の両方で自発的な律動活動に寄与する。[OMIM

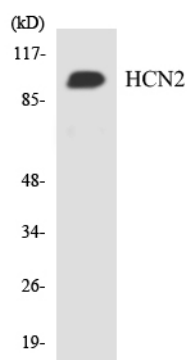
提供、2010年7月],ドメイン:セグメント S4はおそらく電圧センサーであり、3つおきの位置に一連の正電荷を帯びたアミノ酸が存在することが特徴です。機能:過分極活性化イオンチャネルは、ナトリウムイオンよりもカリウムイオンに対して弱い選択性を示す。心臓 (If) とニューロン (Ih) の固有のペースメーカー電流に寄与する。大きな瞬間電流を生成する。cAMPによって活性化される。細胞内塩化物イオンと pHによって調節される。酸性 pHは活性化をより負の電位にシフトさせる。その他:細胞外セシウムイオンによって阻害される。類似性:カリウムチャネル HCNファミリーに属する。類似性:1つの環状ヌクレオチド結合ドメインを含む。サブユニット:カリウムチャネルは、おそらくホモまたはヘテロ四量体からなる孔形成サブユニット複合体で構成されている。HCN1とヘテロ多量体を形成する。KCNE2と相互作用する。組織特異性:脳全体に高発現している。心臓では低濃度で検出される。、

研究分野

画像データ



HCN2抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HCN2抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。